

## 《ハワイ語とは、ハワイ人とは》

### ◆ ハワイ語とは—ハワイの人たちはどこからきたか

ハワイ、ホノルル、ワイキキ、アラモアナなどといった地名には皆さん親しみもありまた思い出もある事と思います。これがハワイ語なのです。

ハワイ語は、ポリネシア語の仲間ですが、どのような人々が現在のハワイに定着したのか、歴史をさかのぼってみましょう。といっても人類発祥からでなく、数千年のスパンです。まずハワイの人たちはハワイの島が発祥の地ではなく他所から移動したと考えられています。

おさえておきたいポイント

- 1) 世界最古の土器は日本で発見されています。1万8000年前のものといわれています。
- 2) 4大文明といわれる、エジプト、メソポタミア、インダス、黄河文明は5000年から3000年前の文明です。

のちにポリネシア人となった人々はインドネシア・マライ半島などの東南アジアを拠点とした民族が東へと移動し、ミクロネシア、メラネシアに移り住み、さらに東のポリネシアへと移住したことによって生まれたとされています。移動の過程では、フォルモッサ（台湾）、さらに日本語にも影響を与えています。

カヌーによる移住を続けた彼らは、ハワイ諸島へは紀元500年から800年の間にマルケサス諸島の人達が最初に住み着いたと言われています。日本の平安時代のことです。

その後、300年から500年経った紀元1100年から1300年の間に、ソシエテあるいはタヒチ諸島から移住して来た人達は先住のマルケサス人達を征服し、北へ北へと追いやってしまいました。日本の鎌倉時代のことです。

ポリネシア語は、ポリネシア人が太平洋に移住して以来、外界との交流もなく、太平洋諸島との交流に留まっていたため、余り大きな変化もなく近代まで伝承されてきました。この西頂点のニュージーランド、南頂点のイースター島、北頂点のハワイ諸島を結ぶ三角地帯が一つの言語圏であったのです。こういっ

## ハワイ語とは

たことも、「ムー大陸」があったという伝説の背景かも知れません。

長い歴史の中で文字を持たないハワイ人たちは、口から口へと語り継ぎ、何代にもわたって音声言語だけの生活をしてきました。そして彼らの生活におけるハワイ語は、神や自然と深い関わり合いを持ってました。

そのハワイ語は西洋人との出会いによって大きく変化しました。1778年イギリス人のキャプテンクック [James Cook] は第3回目の太平洋航海でハワイ人と接触しました。西洋人が初めて記したハワイ語は“*He maikai*”『よい物だ』で、金属製のナイフを見たハワイ人が発したとされています。西洋人の入植者は西洋的な文明を持ち込みましたが、それはハワイの伝統文化を破壊することでもありました。特に西洋人の持ち込んだ病気によってハワイ人は急激に減少していきました。政治的にはおおむね島ごとであった各王国はカメハメハ大王により統一され、ハワイ王国となりました

ハワイ語関連で重要な人々は1820年、キリスト教布教のためにハワイに上陸したボストンからの宣教師たちでした。彼らは教えを広めたい一心でハワイ語を修得し、読み書きのない音声言語のハワイ語をラテン文字（アルファベット）で書き表わしました。また西洋の本をハワイ語に翻訳しました。それ以後、書き言葉としてのハワイ語は、政治を始め新聞や書物など社会関係の文書にも広く使われるようになったのです。日本との外交も始まり、江戸幕府のアメリカへの使節団が寄港したり、明治時代には、明治天皇に対して、日本の皇室からお嫁さんが欲しいという申し入れもありました。

しかし1893年1月17日、ハワイ王制はアメリカ人のクーデターで倒され1898年ハワイ諸島はアメリカ合衆国に併合されました。クーデターの際には日本の軍艦は多くのハワイ人を保護しました。さらに、1959年3月12日、ハワイの州昇格法案が是認されたことにより、同年8月21日アイゼンハワー大統領が最終大統領宣言書を発布し、ハワイはアメリカ合衆国の50番目の州となったのです。このような歴史の中で、1948年最後のハワイ語新聞「カ・ホク・オ・ハワイ」（ハワイの星）も廃刊となり、ハワイ語は急速に衰退の一途をたどりました。

ハワイではハワイ語を話せる人が少なくなり、英語で話される会話の中に時々使われる程度になりました。しかし、このような現状を危機とし、古い文化や芸術を大切にすると共に、ハワイ語を勉強する人が増えているのも事実です。ハワイ語は現在でも生き続けています。ハワイの現地にはプーナナレオと

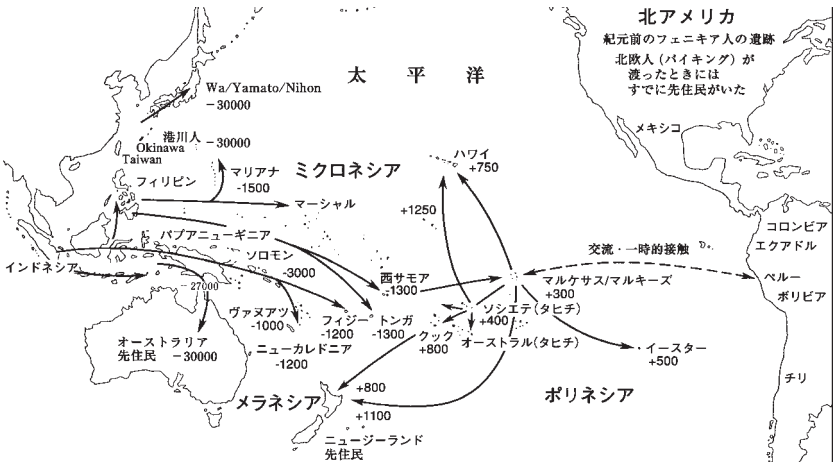
太平洋域における人類・民族の移動

これは「現在はこう考えられている」というモデルで、考古学上の新発見などで説は変わります。たとえば、バルサ筏の漂流実験で有名なヘイエルダール氏などはポリネシア人は南米から移動したと唱えました。

北・南のアメリカ大陸への移動：マンモスを追いかけながら凍ったベーリング海（陸続き）を移動するヒトの想像図がありますが、大西洋を舟（カヌー）で渡った人たちもいたのではないかと考えられています。北歐のバイキングは先住民と接触しています。北アメリカには紀元前からの遺跡があり、これらはエジプト人、リビア人などではないともいわれています。現在のネイティブアメリカンとのつながりも研究されています。

太平洋域におけるヒトの移動を考える上でのキーワードの例。

- ▼ムー大陸：チャーチワード氏の唱えた説ですが、地球物理的に存在は否定されています。
- ▼ムー文化圏：太平洋域に共通する文化でタロ [kalo] 芋の栽培、タバ [kapa]、入れ墨 [kākau]、神話・伝承など。
- ▼沖縄の水没時期と海底遺跡。
- ▼DNA・抗体・寄生虫・ピロリ菌などの研究。
- ▼ラピタ人。



人の移動は現代につながるヒトです。例えば縄文人は現在の日本人とつながりがあると考えられていますが、港川人が現在の沖縄のヒトとつながっているかは否定的です。図は『The Voices of Eden』、篠遠嘉彦氏、木村重信氏の文献より作成しました。地名の日本・沖縄はアルファベットで表記しました。カタカナ表記の多くは新大陸発見以降に西洋人が命名したものです。

## 現在のハワイ語

いう母国語 [‘Ōlelo Makuahine] で幼児教育をおこなう施設、「カメハメハスクール」のように子供たちにハワイ語を教える学校もあります。ハワイ大学には、ハワイ語の講座もあります。そして新しい言葉も作られています。

### ◆ 現在のハワイ語

ハワイ語が書き言葉として文字で表されるようになるまでには様々な土地で、様々な人々から言葉を採取し、整理したものが現在のハワイ語の基になっています。それらの言葉には現在も同じような意味でハワイの島々全域で使われている言葉もあれば、かつては使われていた、あるいは使われていたかも知れないという言葉（使い方）もあります。ハワイ語の辞典には、歴史的経過を持った（日本語でいえば古語とか江戸時代の言葉使いなど）多くの事例・用例ものっています。

ナイロンやアルカリなどの化学、天文、科学用語をはじめ、mile [マイル：英語] → mile [みれ：ハワイ語] など、度量衡用語のハワイ語化もあります。新商品はもとより、国名、地名、食物、軍事、コンピューター用語もハワイ語化されております。ベースボールやフットボールに関する用語もハワイ語化されております。